

❖ 平成24年度 区東部医療圏地域医療講演会 ❖

平成24年度(10月以降)の区東部医療圏地域医療講演会を下記の日程で開催いたします。
(開始時間は、いずれも午後7時30分からで事前申込は不要です。直接、会場へお越しください)

日時	会場	演題	講師	主催医師会
10月10日(水)	東武ホテル レバント東京	抗菌薬について	墨東病院 感染症科医長 岩淵千太郎	江東区医師会
11月14日(水)	墨東病院 14F 講堂	インフルエンザ	墨東病院 感染症科部長 大西 健児	江戸川区医師会
1月9日(水)	墨東病院 14F 講堂	気胸の初期治療 — 待てる気胸と待てない気胸 —	墨東病院 胸部心臓血管外科医員 江花 弘基	すみだ医師会
2月13日(水)	墨東病院 14F 講堂	関節リウマチの最新治療 — 生物学的製剤を中心に —	墨東病院 リウマチ膠原病科部長 永島 正一	江東区医師会
3月13日(水)	墨東病院 14F 講堂	未定		江戸川区医師会

平成24年度(第2回)城東地区歯科医師会連合会主催講演会は平成25年2月に開催予定です

墨東病院人事異動(医師)

採用

平成24年7月1日付

内科医長 たなか ひとみ
田中 仁美



昇任

平成24年7月16日付

内科医長 むらやま みねかず
村山 巖一
新生児科医長 くしま れいこ
九島 令子
歯科口腔外科医長 やまだ やつが
玉田 八束
感染症科医長 いわぶち せんたろう
岩淵千太郎
救命救急センター医長 すぎやま かずひろ
杉山 和宏

退職

平成24年5月31日付

循環器科医長 てらい ともこ
寺井 知子

平成24年7月31日付

救命救急センター医師 やまかわ しゅん
山川 潤

平成24年8月31日付

内科医長 はまき たまえ
濱木 珠恵

紹介予約のご案内

当院の受診は救急の場合を除き、紹介予約制を原則としています。

電話予約センター

TEL:03(3633)5511(直通)
受付時間 午前8:30～午後5:00

診療放射線科検査予約

MRI・CT検査 TEL:03(3633)6191(FAXと兼用)
RI検査・放射線治療 TEL:03(3633)6192(FAXと兼用)
受付時間 午前9:00～午後5:00

問い合わせ先

医事課「医療連携係」 TEL:03(3633)6151(代表)内線2115
FAX:03(3633)7130

緊急の場合

緊急の場合は必ずご一報下さい

月～土 午前9時～午後5時


TEL:03(3633)6151(代)
当該診療科の救急当番医師

夜間、休日

TEL:03(3633)6151(代) ER担当

三次救急

TEL:03(3633)6151(代表)
救命救急センター


 東京都立墨東病院

連携だより

発行 東京都立墨東病院 事務局医事課
〒130-8575 東京都墨田区江東橋4-23-15
TEL: 03-3633-6151(代表)
<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp>

VOL.42

患者さんのトータルマネージメントをめざして

墨東病院医療連携室よりのご挨拶

常日頃地域の先生方には墨東病院との医療連携にご協力をいただき心より感謝申し上げます。医療連携室として開設以来この4月で9年目を迎えることとなりました。今年度より私が室長として連携事業を推進してゆくことになりました。前任者薬師寺部長同様ご協力、ご指導いただければ幸いです。

さて連携事業の目安となります紹介率、逆紹介率を見てみますと、今年度先生方からの紹介率はすでに64%と過去数年の平均61%を超え、また当院から先生方への逆紹介率も38%と過去3年平均35%を超えてきております。これは地域の先生方と墨東病院間との双方向の連携が軌道に乗ってきていることをうかがわせます。

すでにご承知のこととは思いますが、現在の当院における連携事業についていくつかお話させていただきます。当院では区東部医療圏を構成する三医師会の先生方にご協力いただき、ほぼ毎月先生方のご興味のあるテーマに沿って学術講演会を開催させていただいております。またそれぞれの医師会理事の方々と各地域医療圏からの紹介率、逆紹介率など具体的な数値をもとに、年数回意見交換会を開いています。その折当院への要望などをうかがい、今後の連携の維持、推進に努めております。時に地域の医療機関を訪問させていただいたり、先生方から連携強化に当たってのご訪問を受けることもあります。こうした病院間の連携事業はもとより、各診療科別に、たとえば急性心筋梗塞では循環器科が、周産期医療では産婦人科及び新生児科が、脳卒中であれば脳神経外科及び神経内科が、大腿骨頸部骨折では整形外科が、このほか、小児医療、がん医療、感染症、糖尿病で詳細な連携事業が展開されております。

今後は第三次救急、ERをはじめ、上記急性期疾患を中心とした医療連携はもとより、呼吸器、血液、肝疾患、リウマチ（膠原病）、内分泌などいわゆる慢性疾患にかかわる連携事業を並行して確立してゆかねばならないと思っております。幸い当院では救急医療はもとより、区東部の総合医療センターとして、なかでも重点医療として感染症、難病医療（リウマチ膠原病系、特定

内臓系）、障害者歯科医療、心臓病医療、脳血管医療、専門リハビリテーション医療に対応できる機関としての役割を同時に担ってきております。慢性疾患であれば、当院の各診療科で継続して経過観察するのものと一つの診療形態と考えますが、先ほども申し述べた地域の先生方へ逆紹介するなかで、患者さんの恒久的なケアを基幹病院、診

療所間双方向で行えるようなシステムを確立してゆくことが必要ではないかと考えます。慢性疾患の急性増悪、新たな薬物治療の介入、定期的な画像検査、外科的処置の必要性、訪問診療など、1人の患者さんに対し、地域の先生方と基幹病院とがそれぞれの得意領域を分担して、患者さんのトータルマネージメントに当たることも医療連携の重要な柱と考えます。

一方でこのような医療連携を支えているのは病院対診療所といった施設間の連携ではあっても、連携を支える医療機関スタッフの相互信頼が基盤になればなりません。それには顔が見えることが第一ですが、「紹介したのに返事がない。」「紹介後の治療経過を知りたい。」といったお話を耳にすることがあります。治療経過についてのご返事は、担当科で治療ができれば問題ないのですが、担当科が変わったケース、他の専門機関を紹介したケースなど、十分な情報を提供できていないこともあります。先生方にもご遠慮なく連携室へお問い合わせいただければと思います。今後はこのような点も考慮し連携に当たりたいと考えます。

以上、連携室一同先生方のご意向に沿えるよう努力いたしてまいります。今後とも更なる医療連携の充実のため、先生方のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。



墨東病院 医療連携室長
リウマチ膠原病科部長
永島 正一



キッズ体験 イン 墨東 2012

墨東病院では、夏真っ盛りの8月8日、9日の午後に「キッズ体験イン墨東 2012」が開催されました。今年で4回目をむかえ年ごとに参加者が増え今回は、両日で44名の子ども達が参加しました。キッズ体験は、職員の子供達を対象に医療現場を疑似体験することで医学・看護への興味を持ってもらう。そのうえ、親の仕事内容を少しでも理解してほしいとの考えのもと3年前の夏に看護師確保対策PTにより企画され始めました。

今年は、看護師や医師の子供達の他に検査科やリハビリ科といったコメディカルや庶務課職員の子供達の参加もあり、院内での認知度も高まってきています。

体験の内容は、レサシアンを使用したBLSに始まり、手洗い前後の菌の数を調べ手指洗浄が上手に

できたかを確認、また蛍光塗料を使用し手指の洗い残しの有無を見るなどの手洗い実験、放射線科見学、母親や父親が働く病棟や職場に行つての職場体験そして最後にヘリポート見学です。BLSでは中学生や小学校高学年のグループは、心臓マッサージ・人工呼吸・AEDの使用方法等を本格的に行い真剣そのもので取り組んでいました。親が勤務する職場では、血圧測定や車椅子の乗車、車椅子介助など様々な体験を行い、親の仕事内容を今まで以上に理解することができたことと思います。また、医療や看護への関心を持つ「きっかけ」となる体験となったようでした。この貴重な体験が、いつまでも子供達の小さな胸の中で生き続けてくれることを期待します。

12A病棟 看護長 見田 要子



「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を開催！

国のがん対策推進基本計画では、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的知識を習得する」ことが目標として掲げられています。

今年度も、当院では、厚生労働省の開催指針に準

拠した緩和ケア研修会を開催いたしますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

修了者には、厚生労働省から修了証書が交付されます。(なお、欠席・遅刻・早退は未修了ですのでご注意ください。)

開催日時 平成24年 11月17日(土) 13時30分～20時10分(13時受付開始)
11月18日(日) 9時00分～17時00分の2日間

場 所 墨東病院 14階講堂

対象者 医師(特に、がん診療に携わる医師) ※募集定員 30名

参加料 無料。但し昼食代(2日目)・茶菓子費1,500円を当日徴収します。

申込期限 平成24年 10月12日(金)

*お申込などの詳細は、当院ホームページをご覧ください。

<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp/>